

○事業所名	こども発達サポートのびいく		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75名	(回答者数) 75名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	言語聴覚士による個別訓練に特化している	個々の担当利用児童様のみならず、職員間でカンファレンス等を行い全ての利用児童様を全員で把握している。また教育環境を整え、セラピストのスキルアップを図っている。保護者に訓練見学の場を設けるとともに、相談事にも迅速に対応している。	個々のセラピストの知識や技術向上の場を積極的に設ける。 (事業所内研修実施や外部研修への費用負担の軽減など) SNS等を活用し、保護者への情報発信 連携機関であるたけつな小児科クリニックとの円滑な連携や保護者への相談窓口の案内
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内での個別訓練から集団への移行に向けての取り組み	個別訓練のみの実施	事業所内での集団への移行に向けてグループ訓練等を実施していくニーズが保護者にあるか確認する 集団での支援を行っている施設との情報共有や連携体制を構築する
2			
3			